

北陸・中部の産業連携

(東海北陸連携コンポジットハイウェイ構想とRESAS活用によるローカルブランディングの促進)

平成27年11月

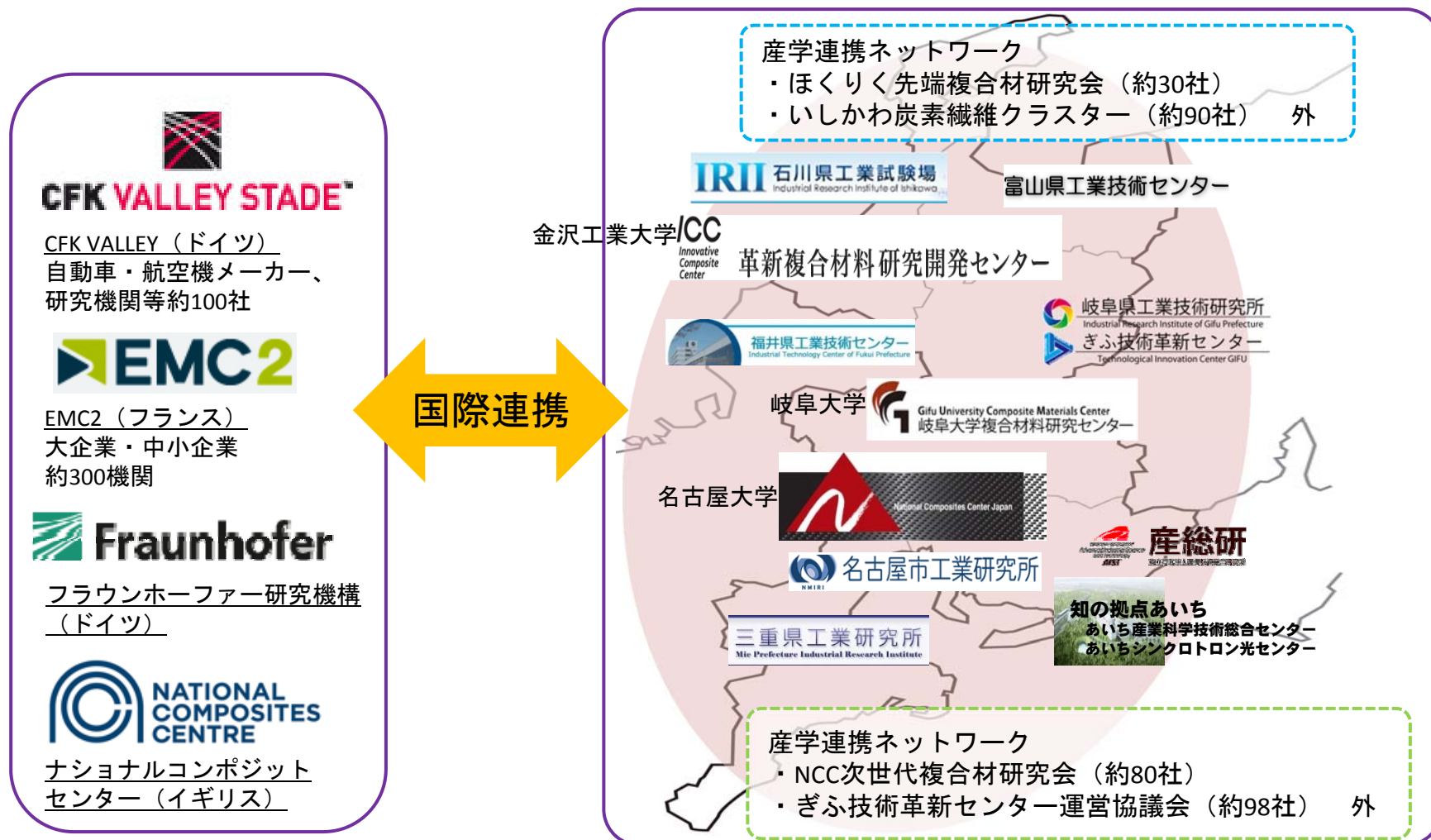
中部経済産業局

総務企画部長 渋谷 浩

＜次世代素材分野の技術の強化＞

東海北陸連携コンポジットハイウェイ構想

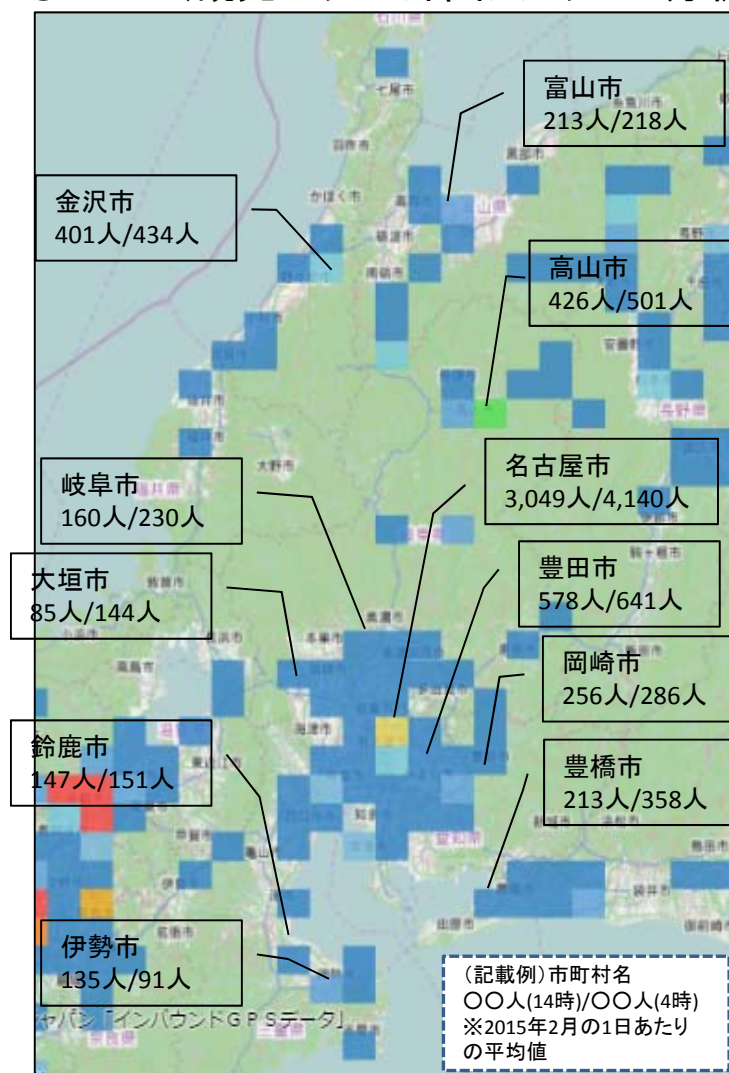
- 中核となる研究開発拠点（名古屋大学NCC、岐阜大学GCC、金沢工業大学ICC）が、地域公設試等の協力を得ながら、産業界が求める多様なニーズに応える研究開発・人材育成のプラットフォームを組成し、炭素繊維複合材に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界に冠たる一大拠点・産業集積の形成を目指す。



RESASを活用したローカルブランディングに資する中核企業の抽出

RESAS（観光マップ）から明らかになった外国人の訪問地域について、RESAS（産業マップ）を用いて地域の中核企業である酒蔵を抽出（昇龍道-日本銘酒街道プロジェクトに加盟の企業もヒット）。今後のインバウンドの増加を見据え、各地域のローカルブランディングに資するこれら酒蔵（中核企業）の一層のプロモーションが必要。

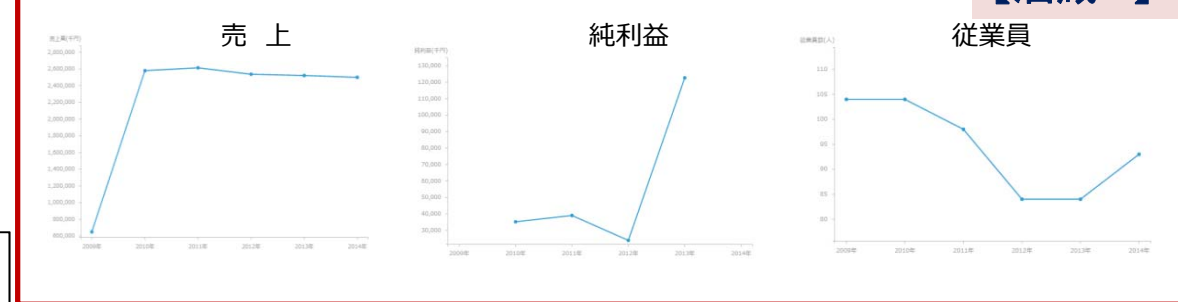
○RESAS（観光マップ-外国人メッシュ分析） ○RESAS（産業マップ-企業別花火図）



【酒蔵A】



【酒蔵B】



【酒蔵C】

